



9月 ひなぎくだより

まねっこが楽しいひなぎくぐる一ぷさん。「さあ、みんなでトイレに行こうね」と声をかけ、子どもたちに目をやると、オムツ替えコーナーで3人寝ころんでキャッキヤと笑っていました…。

「かわいいんだけどさ、オムツ綺麗にしようね(笑)」と一緒に笑ってしまう私でした。



列車あそび

1学期間を過ごし幼稚園にも慣れ、友だちと一緒にいること、友だちと遊ぶことが楽しくなってきた様子です。「Aちゃん早く来ないかな、一緒に遊びたいんだよ」なんて言葉も聞かせてくれるようになりました。

先日、列車で遊んでいるB君に「いれて」とAちゃんが声をかけました。「いいよ」と返事をするB君。別々に、自分の線路を作り始めました。しばらく線路作りをしたあと、Aちゃんが「ねえ、これはずして」とB君の作った線路の1つを指差しました。Aちゃんが作っていた線路がどんどん長くなり、B君の作る線路が行く道を阻んでいたんです。頑張っ

て線路を繋げたB君、「嫌だ」と返事をしました。

2人で解決するのはまだ難しいかな、私が間に入ってお話しよう、と思いAちゃんの様子を見ると『うーん』と眉をしかめていました。きっと、心の中で葛藤していたのだと思います。すぐに声をかけずに少し待つてみることにしました。Aちゃんは、しばらく考えたのち、「これだったらいい?」と別々に作っていた線路をくっつけたんです。B君も「いいよ」と応え、2人でまた遊び始めました。Aちゃんの心の葛藤、行動に驚かされたエピソードでした。

まだまだ、大人の手助けが必要な年齢ではあります。友だちとの関わり方が分からないときもあります。それでも、子どもが本来持っている力を信じて、待つことの大切さを改めて感じました。



オルガニストの追中宏美さんに来ていただき、パイプオルガンに触れました。

目で見て、指で鍵盤を押し、耳でしっかりと音を確認め、じっくりと楽しむ2人でした。



担任 加瀬悠華